

別 紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	福祉対策措置	中川町幼児センター 保育事業	中川町	12,831,359	10,606,644	

(注) 事業が2つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番 号	措 置 名		交 付 金 事 業 名	
1	福祉対策措置		中川町幼児センター保育事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			中 川 町	
交付金事業実施場所	中川郡中川町字中川			
交付金事業の概要	中川町幼児センター保育士5名分の人件費			
総 事 業 費	12,831,359 円	交付金充当額	10,606,644円	
		うち文部科学省分	0円	
		うち経済産業省分	10,606,644円	
交付金事業の成果及び評価	53名の児童が保育を受け、勤労者や疾病のある保護者の児童を保育するほか、地域で若い世代の保護者に協力する「地域子育て支援」の取り組みは、児童の健全育成はもちろん、若い世代が子どもを産み育てられる環境の維持、定住促進に寄与したものと評価する。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	人件費	雇用	-	12,831,359 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
保育事業は、児童の保育および若い世代の子育て支援に必要不可欠であり、地域での子育て支援事業の充実を進めていく。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	特に予定なし			

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。